

尖圭コンジローマについて

ヒトパピローマウイルス(HPV6、11 型)による性感染症で、乳頭状、鶏冠状、カリフラワー状の腫瘍を個別または房状で認めます。男性では亀頭周囲、包皮、陰囊に好発し、女性では大小陰唇、会陰、膣内に好発します。肛門周囲、肛門内、尿道内に発症することもあります。

症状

多くは無症状ですが、痛みやかゆみを認めることもあります。無症状でも性感染症のため治療が必要です。

検査

特徴的な外観のため、特別な検査は不要で診断は比較的容易です。時に陰茎癌との鑑別が困難な場合があり、生検が必要になることもあります。

治療

80%は 2 年以内に自然消退します。治療は薬物療法と手術療法があり、いずれも単独では治癒率が 60～90%、再発率が 20～30%です。複数の治療方法を繰り返す場合もあります。

①薬物療法：5%ベセルナクリームを 1 日 1 回、週 3 回、就寝前に塗布し、朝(塗布後 6～10 時間後)に石鹸で洗い流します。尿道、膣、肛門内など粘膜には使用できません。大きな腫瘍では消失まで 16 週間継続します。治癒率は 55%で、副作用に重篤なものはありませんが、紅斑、びらん、疼痛、刺激感などを 22.4%で認めます。

②手術療法：薬物療法が無効であれば、腫瘍切除術、液体窒素による凍結療法、焼灼術、レーザー蒸散術などを行います。いずれも痛み、瘢痕形成などの合併症があります。